



2020年1月31日

各位

会社名 デジタルアーツ株式会社  
 代表者氏名 代表取締役社長 道具 登志夫  
 (コード番号: 2326 東証第一部)  
 問合せ先 管理部 小西 勲  
 (TEL 03-5220-6045)

### 2020年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2019年5月9日に公表しました2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）の通期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせします。

記

#### 1. 2020年3月期 連結業績予想の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 6,800	百万円 3,300	百万円 3,300	百万円 2,277	円 銭 163.83
今回修正予想(B)	5,500	2,050	2,050	1,430	102.26
増減額(B-A)	△1,300	△1,250	△1,250	△847	
増減率(%)	△19.1	△37.9	△37.9	△37.2	
(参考)前期実績 (2019年3月期)	5,841	2,629	2,630	1,961	141.11

#### 2. 2020年3月期 個別業績予想の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 6,600	百万円 3,300	百万円 3,300	百万円 2,290	円 銭 164.76
今回修正予想(B)	5,200	2,100	2,100	1,450	103.69
増減額(B-A)	△1,300	△1,100	△1,100	△790	
増減率(%)	△21.2	△36.4	△36.4	△36.7	
(参考)前期実績 (2019年3月期)	5,752	2,774	2,777	1,784	128.42

### 3. 業績予想修正の理由

2017年9月に販売開始した「i-FILTER」Ver. 10、「m-FILTER」Ver. 5は、新世代の標的型攻撃対策が可能なトータルセキュリティソリューションとしての機能の高さと実績が認められ、新規案件の獲得が一定程度進んでおります。

しかし、当期は2020年1月にWindows7のサポート期限が到来することにより、パソコン切替の需要が著しく増加し、販売代理店がパソコンの販売に注力している状況が当初の想定以上に続いております。さらに、児童生徒向けの1人1台の学習用端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する構想（GIGAスクール構想）において、2019年12月に閣議決定された補正予算案が盛り込まれたことにより、公共向け市場において交渉中の案件の内容に見直しが行われ、当第4四半期連結会計期間に獲得を見込んでいた案件が2021年3月期にずれ込む見込みです。なお、GIGAスクール構想の実現のための予算は2,318億円であり、2021年3月期以降の売上高に貢献する見込みです。

以上より、新規の大型案件の獲得が一定程度に収まり、交渉中の案件の獲得がずれ込んでいることなどから、前回公表した予想を下回る見通しとなりましたので、売上高を下方修正いたしました。これに伴い、営業利益、経常利益、当期純利益につきましても下方修正いたしました。

以 上